

ナレッジ・マネジメント時代の企業行動とリアル・オプション会計
—新しい公正価値の一つの提言—

目次

序章 研究の課題と方法	1
1. 本論文の目的と問題意識	1
2. 本論文の分析方法と構成	6
第1章 ナレッジ型経済における企業行動とその評価	9
1. 新しい時代における企業行動	9
(1) 実務経験における無形資産も含めたマネジメント	9
(2) ナレッジ・マネジメントとは	10
(3) 企業戦略とナレッジ・マネジメントとしてのバリュー・チェーン	13
(4) ナレッジ・マネジメント時代の新しい情報と会計の関わり	18
2. 意思決定と企業行動	18
3. 企業行動の評価と会計	21
(1) 経済学的利益概念による企業行動の評価	21
(2) 会計理論による企業行動の評価	22
(3) 新しい企業価値評価をどのように考えるか	23
第2章 経済理論と会計測定	28
1. ヒックスの所得概念とフィッシャーの資本所得論	28
(1) ヒックスの所得概念	28
(2) フィッシャーの資本所得論	34
2. 経済理論と会計測定の関係	36
3. 経済理論と企業利益概念	39
第3章 公正価値概念の理論的背景	41
1. 公正価値概念の登場とその経済的背景	41
2. 公正価値の定義と測定	44
(1) 公正価値の了解された定義	44
(2) FASBのSFAS第7号における定義	45
(3) SFAS No.157における定義と測定	46
(4) SFAS157-4による取引量が著しく減少した場合の追加的指針	49
(5) IASBにおける公正価値の定義と測定	50
(6) IFRS第13号の公表と公正価値	53
3. 公正価値における理論的背景の必要性	56
第4章 会計モデルの再評価と現在価値	58
1. カレント市場価値とエドワーズ・ベルの利益計算	58

(1) 問題意識の把握	58
(2) 基本理論の把握と整理	60
(3) 理論の発展と応用	64
(4) 理論の新展開と提案	70
2. 将来キャッシュフローおよび会計情報を用いた現在価値	72
(1) NPV (正味現在価値)	72
(2) EVA (経済的付加価値)	73
(3) 異常利益を用いた現在価値	74
3. NPV、EVA およびオルソン・モデルの問題点とリアル・オプション価値	75
第5章 公正価値の一般概念としてのリアル・オプション価値	76
1. 公正価値の目的	76
(1) 投資者・債権者の意思決定に有用な情報としての公正価値	76
(2) 企業の持分所有主としての株主のための公正価値	78
(3) 意思決定機能と契約支援機能を考慮した公正価値の必要性	79
2. 客観的公正価値か主観的公正価値か	79
(1) 客観的公正価値概念と主観的公正価値概念	79
(2) 会計測定的基础となるべき公正価値	82
3. 公正価値としての将来キャッシュ・フローを用いた現在価値とリアル・オプション	82
(1) 既存の価値評価とその問題点	82
(2) リアル・オプション価値とその適用	84
第6章 不確実性への対応としてのリアル・オプション	86
1. リアル・オプションの定義とその用語	86
(1) リアル・オプションの定義	86
(2) リアル・オプションの用語	87
2. リアル・オプション価値の計算方法	87
(1) 二項モデル	87
(2) ブラック・ショールズ・モデル	91
3. オプションの種類	93
4. NPV とリアル・オプション	93
5. リアル・オプション価値の導入	95
6. 不動産投資に見るリアル・オプション	97
第7章 リアル・オプション会計	99
1. 新たな企業価値概念としてのリアル・オプション価値	99
(1) 評価モデル・構成要素・利益概念の比較	99
(2) リアル・オプション価値の位置付け	101
2. 現在価値としてのNPV、EVA、リアル・オプション価値の比較	102

3.	リアル・オプション価値 (ROV) ナビゲーター	104
4.	リアル・オプション会計の導入	105
	(1) 公正価値利益	105
	(2) 実現可能利益	106
	(3) 主観のれん	106
	(4) リアル・オプション価値による従来形式での財務諸表	107
	(5) リアル・オプション価値に至る企業価値の評価とその役割	109
5.	多元的評価方法とリアル・オプション会計	111
6.	現実的なリアル・オプション会計の適用に向けて	113
第8章	ナレッジ・マネジメント時代の会計としてのリアル・オプション会計	115
1.	リアル・オプション価値による評価とリアル・オプション会計	115
	(1) 主観価値、主観的利益概念とリアル・オプション評価	115
	(2) 公正価値の一般概念としてのリアル・オプション価値	118
	(3) リアル・オプション価値のフレームワーク	119
2.	新たな指標としてのリアル・オプション価値報告書	122
	(1) リアル・オプション価値 (ROV 価値)の基本的構造	122
	(2) ROV 計算における前提とモデル	122
	(3) グルーピングと ROV 報告書への記載	128
	(4) リアル・オプション価値とそれに基づく公正価値 (経済的利益)	130
	(5) ROV 企業価値報告書の形式	131
	(6) ROV 報告書での主な記載事項	133
3.	企業行動と評価モデルの階層	134
	(1) リアル・オプション価値に至る階層と評価モデル	134
	(2) 企業行動と評価モデル	136
	(3) 評価モデルの管理とスプレッド・シート	137
4.	リアル・オプション会計の役割	141
	(1) 取得原価方式、IFRS 方式との比較	142
	(2) ROV 企業価値報告書の果たす役割	144
5.	リアル・オプション会計の今後	144
	(1) 新しい役割としてのリアル・オプション会計	144
	(2) 実際適用としてのリアル・オプション会計	145
終章	新しい会計システムとしてのリアル・オプション会計	146
1.	リアル・オプション会計の構造と特質	146
	(1) リアル・オプション会計および ROV 報告書の目的	146
	(2) リアル・オプション会計の質的特性、ROV 企業価値報告書の構成要素	147
	(3) リアル・オプション会計における評価とその役割	148
2.	リアル・オプション会計の構築	150

3. リアル・オプション会計の将来	152
4. 終わりに	153
参考文献	154